

2003年2月28日(金) 11:05 ~ 11:30

世界最大級ライブラリを駆使した「ウルトラ HTS」の受託サービス

アクセルリス株式会社
アジアパシフィック・マーケティング&顧客サービス ディレクター
谷地 敏行

Pharmacopeia は Accelrys 社の親会社であり、ライフサイエンス企業むけに創薬研究サービス事業を行っています。1993年に設立、社員規模は約750名、売上は125mUS\$のNASDAQ 公開企業です。

PHARMACOPEIA...3つのコア技術

- (1) Chemistry : 7百万を超える世界最大規模の医薬候補化合物ライブラリ
- (2) Biology : 1536 ウェル・マイクロプレートを駆使したウルトラ HTS
- (3) Software : 膨大な化合物・uHTSを支える情報技術と Accelrys ソフトウェア

Lead Discovery Service (LDS: リード化合物の探索サービス)

Pharmacopeia の LDS プログラムは、クライアント製薬企業の 'ターゲット' に対して、3百万を超える世界最大規模の化合物ライブラリを使用して超高速スクリーニングを行います。ヒットしたリード化合物はクライアントにレポート&ライセンスされます。

一般に欧米大手製薬企業の、ターゲットからリード創出のステージにおける成功確率は~15%といわれますが、Pharmacopeia LDS のこれまでの実績では 43~64%と、非常に高い確率を得ております。通常この間、わずか数ヶ月~最長六ヶ月程度であり、一化合物あたりのスクリーニング単価はわずか数十¢と、コスト・時間要素においても、LDSは創薬研究の有力なオプションを提供しています。

Pharmacopeia 社の LDS プログラムスタッフは、Merck、GSK といった経験豊富な研究者によって構成されており、創薬共同研究の実績は、Bayer、Bertex、NV Organon、Pharmacia & Upjohn、Roche、Schering-Plough、Novartis、日本では第一製薬、大塚製薬工場、三菱ウェルファーマ、興和、ロコモジーン、などがあげられます。